

創立125周年
記念インタビュー

先達に聞く!
④
なかにむらしろうご
中村勝吾さん



中村勝吾さんプロフィール
1958年大阪YMCA理事(現
常議員)・1998年大阪YMCA
財団法人理事を経て、現学校法人
大阪キリスト教青年会理事長

内田 Y M C A に関わられるようになったきっかけを教えてください。

中村 私は大阪大学学生 Y M C A に所属していました。また、磐上寮(財団法人大阪大学基督教青年会磐上寮。2006年に解散し、財産を大阪 Y M C A に寄付)があつて、私のクラスメイトが寮長でした。東野田の校舎は戦時中空襲で焼け、校舎が御殿山にあつたのです。私は守口に住んでいて、香里園というところで途中下車すると磐上寮に行けます。そんな関係で、たまに集會があれば出たりしました。また、学生時代に B B S 運動(Big Brothers and Sisters Movement)の略。青少年健全育成の青年ボランティア団体)に関わるようになり、その活動を世戸さん(元大阪 Y M C A 総主事)に支援していただいたことがありました。それがきっかけで、世戸さんから声を掛けられて、大阪 Y M C A の会員になりました。

そのうちに宮崎さん(元日本 Y M C A 同盟総主事)から、南 Y M C A 運営委員会の委員になるよう勧誘されてお引き受けしました。役割は当時南 Y M C A にはいろいろな活動をする、比較的自由な青年のグループがあつて、その活動の支援をすることです。また、社会を明るくする運動期間に、中学生の弁論大会を開催したこともありました。

南 Y M C A (当時の阿倍野ブランチ)ではサウスワイズにも在籍していました。というのは、私の大学の研究室が当時堺の浅香山にあつたので、阿倍野を経由して通っていました。

その後、高槻に Y M C A が開設された時に、「運営委員長」を頼まれてお引き受けしました。だから過去を振り返ってみると、Y M C A との関係は自分から積極的に関わろうとしたのではなく、知人に言われたからとか、Y M C A のスタッフに頼まれ

たからということが多いように思いますが、その代わり頼まれたことは一所懸命やるというのが私の主義ですから、それで今日の私があると思つています。

Y M C A に関わるようになるのは、世戸さん、宮崎さん、塩月さん(元日本 Y M C A 同盟総主事)などの Y M C A スタッフであつたり、Y M C A でボランティアをして知る知り合いの方であつたり、その方を通じて Y M C A という誘いがあつたからであつて、Y M C A そのものをよく知つていて、じゃあ活動に参加しようかという場合は少ないのではないかと、少なくとも私の経験からしますと、そう思います。

内田 今の Y M C A に期待することがあります。

中村 期待することはいろいろあります。その中の一つとして、賛助会の強化があります。以前、熊本電波高等専門学校創立50周年で、熊本の財界から資金を集めようとした時、熊本ワイズメンの方の紹介で、随分助かりました。その時に、熊本の主な企業等と、産学協同のネットワークみたいなものを作つたことがあります。大阪 Y M C A はこれだけの伝統がある大きな組織ですから、ボランティア団体として、賛助会をもう少し強化してはと思つています。元総主事の奈良伝さんは、結構いろんな所と個人的なコンタクトを持っていましたから、積極的に企業にもアタックされたらいいと思つています。

そのためには、Y M C A がこれだけ国内、国際的にいろんな奉仕活動をしていることを上手く整理して、125周年を記念して、強力な組織を作りたいからというふうなことで働きかけることが必要ではないかと思つています。

(聞き手・内田弘志/統括本部スタッフ)

大阪 Y M C A 創立 125 周年記念プログラム

南 Y M C A ライブラリーコンサート
—クラシックをマンスリーで聴く—

- 第3回 1月26日(土) 15:00~17:00
「リコーダーとピアノ」
- 第4回 2月16日(土) 15:00~17:00
「フルートとオーボエとピアノ」
- 第5回 3月22日(土) 15:00~17:00
「ピアノデュオ」

ボランティア募集

大阪 Y M C A 創立 125 周年記念事業としてコンサートを通して地域の人々が Y M C A に集うことにより、Y M C A ボランティアの広がりを願い、ライブラリーコンサートを実施しています。

「肩の力を抜いてすてきな音楽を楽しめる場所を」Y M C A にもっとたくさんの人が集まってくれたら…

そんな思いをお持ちの方で受付など当日のお手伝いをしていただける方を募集しています。保護者の方、会員の皆様のご参加をお待ちしています。お気軽に、下記までお問い合わせください。

問合せ 南 Y M C A TEL 06 (6779) 8370

E-mail minami-pool@osakaymca.or.jp

★★ クリスマス献金支援プログラム ★★



披露をはじめ、府立港高校 O B B ンの皆様、ブルーグラス奏者、生駒マウンテンボーイズの皆様、Y M C A 日本語学科の留学生、王聡さんによるサクセス独奏、大阪 Y M C A 創立 125 周年記念楽団など、多彩な顔ぶれがそろい、出展においては、ワイズメンズクラブの方々をはじめ、会員の皆様により、本当の「お祭り」として、大いに盛り上がりました。カーニバルの目標に掲げられる、地域・館内・会員・ワイズメンズクラブとの交流において、大きな成果となりました。カーニバルにおける収益金 208,271 円は、クリスマス献金として Y M C A の諸活動のために使用されます。皆様のご協力によりとさばりカーニバルが盛会のうちに終了したことを、感謝をもってご報告いたします。

土佐堀 Y M C A ウエルネスセンター

福山武志

第13回南 Y M C A ファミリーカーニバル

2007年11月3日(土)に今年で13回目を迎える南 Y M C A ファミリーカーニバルが開催されました。当日は、Y M C A 会員・生徒、近隣住民の方々と Y M C A 学院高校やウエルネス・野外ユースリーダー・日本語学校・ランゲージセンター・ながい保育園・Y net グループ(南 Y M C A のボランティアグループ)など多くの運営ボランティアの方々と合わせて約 850 名の参加をいただきました。

今年度はサブテーマを「エコでいこう」とし、ゴミの減量や、少量ですがお箸・食器のリユースを試験的に行いました。また、恒例となつております日本語学校の留学生を中心とした国際屋台村では、韓国・中国・ベトナム・タイ・メキシコ・アメリカなど多彩な国の料理が用意されました。ステージプログラムにおいては、ジャックマジシャンズクラブによる手品や魚住バンドの生演奏など拍手喝采の内容でした。



これからも南 Y M C A ファミリーカーニバルが、子どもからお年寄りまで多くの方々にとって、はつらつとした笑顔に出会える場であることを願っています。今回のプログラムの収益金は全て国際奨学金並びにクリスマス献金に充てられます。南 Y M C A ファミリーカーニバル実行委員長 宮前 弘

大阪 Y M C A 『2008 年度年間聖句・年間讃美歌』

公募のご案内!

大阪 Y M C A 常議員会では、2008 年度年間聖句・讃美歌を会員の皆様より公募いたします。年間聖句・讃美歌は、大阪 Y M C A に関わる一人ひとりの活動指標となります。皆様からの応募を心よりお待ちしております。

活動推進委員会委員長 梶口 望

【公募基準】

- 大阪 Y M C A の使命*1、Y M C A の願い*2 に則していること
- 社会情勢が反映されていること
- 日ごろあまりキリスト教に馴染みのない人にとっても、受け入れやすいものであること

*1 本紙 1 面上段をご覧ください。 *2 本紙 1 面中段をご覧ください。

【対象者】 協会会員及びボランティアメンバーを含む全会員

【応募締切り】 2月15日(金)

【応募先】 応募用紙*3 に氏名、所属 Y M C A、連絡先など必要事項を明記の上、メール、電話、F A X、郵送のいずれかで下記まで応募ください。

*3 ホームページよりダウンロード可。あるいは、応募の年間聖句・讃美歌の箇所・番号と選んだ理由をご記入の上、大阪 Y M C A 統括本部まで直接お申込みください。

大阪 Y M C A 統括本部 担当: 向谷、蔭山

住所 〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-5-6

TEL 06 (6441) 0894 FAX 06 (6445) 0297

E-mail info@osakaymca.or.jp

【その他】

- 年間聖句・讃美歌は応募された中から常議員会で決定され、2008 年会員大会において報告されます。
- 決定された年間聖句・讃美歌の応募者及び選定理由などは大阪青年でご紹介させていただきます。(匿名希望の方はその旨をお知らせください)